

平成 22 年度 (第 36 回) 北海道学生ゴルフ選手権競技

開催日 : 平成 22 年 6 月 29 日 (火)

会 場 : 札幌国際カントリークラブ

(A B C コース)

競 技 の 条 件

- 1 .ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。
- 2 .競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
- 3 .使用球の規格
公認球リストの条件・ゴルフ規則付 (C)1b』を適用する。(ゴルフ規則 186p 参照)
- 4 .使用クラブの規格
適合ドライバーヘッドリストの条件・ゴルフ規則付 (C)1a』を適用する。(ゴルフ規則 184p 参照)
- 5 .スター 時間
『ゴルフ規則付 (C)2』を適用する。(ゴルフ規則 187p 参照)
- 6 .競技終了時点
本選手権競技は、競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。
- 7 .ホールとホールの間での練習禁止
『ゴルフ規則付 (C)6b』を適用する。(ゴルフ規則 190p 参照)
- 8 .プレーの中断と再開
(1) プレーの中断 (落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則 6-8b、c、d に従って処置すること。
(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。
1 ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。
この条件の違反の罰は競技失格。(ゴルフ規則 6-8b 注)
(3) プレーの中断と再開の合図について
本部より競技委員を通じて競技者に連絡する。
- 9 .移 動
正規のラウンド中の移動について『ゴルフ規則付 (C)9 移動』を適用する。(ゴルフ規則 192p 参照)
- 10 .キャディー
正規のラウンド中、競技者が委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。
この条件の違反の罰は『ゴルフ規則付 (C)3』を適用する。(ゴルフ規則 188p 参照)

ローカルルール

- 1.アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- 2.修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。
- 3.ウォーターハザードは黄杭または黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
- 4.排水溝は動かさない障害物とする。
- 5.人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
- 6.クローズド(Closed)の標示のある予備グリーンはプレー禁止の修理地(スルーザグリーン)とし、その上に球があったりスタンスがかかる場合、競技者は、ゴルフ規則 25-1b(i)の救済を受けなければならない。
このローカルルールの違反の罰は、2打。
- 7.Aコース 3、4ホール、Bコース 6、9ホールの樹木の巻物施設はコースと不可分の部分とする。
- 8.Aコース 9ホールの右側 240ヤード付近の林の中の舗装道路を含めた白線内の区域は道路と同じ取り扱いとする。即ち、その白線内の区域は障害物であって修理地ではなく、罰なしにゴルフ規則 24-2b(i)の救済を受けることができる。
- 9.コース内にある防球ネットによる障害(ゴルフ規則 24-2a)のため、ゴルフ規則 24-2bの救済を受ける場合には、その障害物の上を越えたり中や下を通さずにニアレストポイントを決定しなければならない。
- 10.パッティンググリーンに近接する動かさない障害物について、『ゴルフ規則付 (B)6』を適用する。
(ゴルフ規則 173p 参照)

注意事項

- 1.競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、倶楽部ハウス内並びにスターティングホールのティーインググラウンド付近に掲示して告示する。
- 2.グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
- 3.競技者は指定のスタート時刻の10分前までに所定のティーインググラウンド付近に待機し、競技委員より競技用スコアカードの交付を受けること。
- 4.プレーの進行に留意し、先行組との間隔を空けないよう注意すること。プレーの不当な遅延についてはゴルフ規則 6-7を適用する。(ゴルフ規則 68p 参照)
- 5.競技当日のスタート前の練習は指定練習場で行い、打放し練習場においては備付の球を使用し、1人コイン1枚(25球)を限度とする。

競技委員長